

平成 21 年度 第 1 回札幌市自然由来重金属検討委員会

議事要旨

- 1 日 時 平成 21 年 10 月 29 日 (木) 14:00 ~ 15:40
- 2 場 所 札幌市役所本庁舎 12 階 4 号会議室
- 3 出席委員
委員長 五十嵐 敏文
(北海道大学大学院工学研究科教授)
委 員 伊東 佳彦
(独立行政法人土木研究所寒地土木研究所防災地質チーム上席研究員)
委 員 遠藤 祐司
(北海道立地質研究所地域地質部素材資源科長)
- 4 事務局出席者
札幌市環境局環境都市推進部 湯浅 正和 (環境管理担当部長)
妹尾 義正 (環境対策課長)
環境対策課
札幌市建設局土木部 岡本 英行 (道路工事担当部長)
田中 洋一 (工事課長)
阿部 芳三 (道路課計画担当課長)
工事課、道路課
- 5 議題
(1) 議題 1 平成 21 年度札幌市自然由来重金属検討委員会の進め方について
(2) 議題 2 自然由来重金属を含む建設発生土の取扱いについて
(3) 議題 3 道道西野真駒内線清田線トンネル整備における重金属対策について
- 6 配布資料
(1) 次第
(2) 出席者名簿
(3) 座席表
(4) 資料 1 札幌市自然由来重金属検討委員会設置要綱
(5) 資料 2 平成 21 年度札幌市自然由来重金属検討委員会の進め方について
(6) 資料 3 自然由来重金属を含む建設発生土の区分について
(7) 資料 4 札幌市における自然由来ヒ素の分布状況について
(8) 資料 5 市街地建設発生土の取扱い策定の方向性について
(9) 資料 6 道道西野真駒内清田線トンネル整備における重金属対策について

6 議事概要

(1) 開会挨拶(事務局 湯浅環境管理担当部長)

(2) 委員紹介

3名の学識経験者及び事務局の紹介

札幌市自然由来重金属検討委員会設置要綱一部改正について了承

(3) 委員長挨拶(五十嵐委員長)

(4) 議題1 平成21年度札幌市自然由来重金属検討委員会の進め方について

事務局が資料2を説明し、取扱いの検討にあたり、市街地における建設発生土とトンネル等工事における建設発生土を区分して委員会で議論することについて了承が得られた。

土壤汚染対策法の改正動向を見極めた上で、本検討を進めていき、微修正しながら検討を進めていく必要がある。

(5) 議題2 自然由来重金属を含む建設発生土の取扱いについて

事務局が資料3、4及び5を説明。

市街地建設発生土の取扱いの方向性については、本委員会の意見を踏まえ、次回以降の委員会で整理することとなった。

取扱いを策定するにあたり、小規模な工事や民間の小さな工事まで対象とするのは難しいのではないかと。まずは、工事の実態がどのような規模及び範囲であるのか整理する必要がある。

今までのバックグラウンドデータ等を基に、濃度レベルで地域ごとに区分して取扱いを決める方法もあるのではないかと。

(6) 議題3 道道西野真駒内線清田線トンネル整備における重金属対策について

事務局が資料6を説明。

先進ボーリングについて

- ・施工前調査で基準適合している部分の先進ボーリングは必要ないのではないかと。
- ・現時点でリスクの有る部分(崖錐堆積物及び未風化泥岩)については、先進ボーリングを実施して、要対策土と一般土を区別し土量を減らす方法がある。

施工時の仮置き場について

- ・特異的な地質が現れた場合の対応策として、施工時には可能な限り仮置き場を多く持つ必要があるのではないかと。

(7) 閉会挨拶(事務局 岡本道路工事担当部長)